



江刺ふるさと会
● 菅原 忠雄 会長 (当時)

田原中学校の先生から「子供たちの将来のために、東京の企業訪問を」とのご依頼があり、少しでもお役に立てればと思い、お引き受けいたしました。

目を輝かせ、熱心に質問する生徒の皆さんの姿に接し、大変頼もしく、わくわくする思いでした。当会としては、ご要望があれば引き続き対応していきたいと考えております。

江刺ふるさと会 interview



【警視庁】北上市出身の駒林美津穂巡査部長(左から2人目)との笑顔弾ける1枚

今回の職場訪問は、関東在住の江刺区出身者有志で組織される「江刺ふるさと会」の協力により実現しました。同校から相談を受けた江刺ふるさと会が、会員の職場など訪問先を調整。当日は本市、本県出身の職員が案内や講師を務め、生徒たちは地元出身の先輩の話に、熱心に耳を傾けました。

職場訪問終了後、同校の生徒たちが江刺ふるさと会に宛てた手紙には、

本市出身者の協力で首都圏での職場訪問が実現

を学ぶ」ことを目的にしています。

進路選択の一助に――

現在、市内の中学校では、企業や商店、学校、病院などの協力を得て、職場体験を行っています。多くの中学校が2年生の時に職場体験を行っている中、同校では少人数ならではの取り組みとして、1年生から職場体験を実施。生徒が自分の将来を考える助けとしています。

修学旅行での職場訪問も、生徒たちの進路選択に役立つ内容をと企画されたもので、首都圏を訪れる機会に「東京ならではの職場を訪問」することと「地元出身の先輩から人生

田原中学校 修学旅行職場訪問

【三井住友建設㈱】世界を股に掛ける仕事に興味津々な様子の生徒たち



【三井住友建設㈱】江刺ふるさと会の佐藤真司さん(左)や外国人の社員が会社や自分の仕事などを紹介



水沢工業高校のテクノボランティアは、社会貢献活動であると同時に、生徒たちが地域の高齢者と触れ合い社会勉強する機会になっていました。また、田原中学校では、首都圏で働く先輩たちとの交流が生徒たちの夢を膨らませていました。

どちらの学校でも、生徒たちは交流を通じて「仕事や社会とは何か」を考え、自分の将来をより具体的に思い描くようになったのではと感じました。

人との触れ合いが人を育む――。これからも広報おうしゅうでは、市内の学校の取り組みなどをお知らせしていきます。皆さんと一緒に、本市の次代を担う中高生を応援していきますましよう！

取材を終えて――

お礼の言葉と共に「日本だけでなく世界で活躍していてすごいと思う」「住民の幸せのために働いているのはすごく格好いい」「将来はみんなの役に立てる仕事に就きたい」など、将来を見据えた感想や意気込みが伝わっていました。



Boys be ambitious!

田原中学校 interview

三井住友建設㈱を訪ねると聞いて、どんな話を聞けるのか楽しみにしていました。

当日は、江刺出身の佐藤真司さんや外国人の社員の方から話を聞くことができました。マンション造りを得意としている会社で、日本初のもや、海外でも多く実績があると知り驚きました。

また、3つの国の人が一緒に働き、それぞれの国のデザインを融合させた建物を造っていて、外国に来て頑張っている姿をととても「カッコイイ」と思いました。

「形に残る物を造りたい」という思いで仕事に就いたと聞き、どこで生まれ育っても、意志があればすてきな仕事ができるんだと感動しました。

将来、進路で悩んだり迷ったりしたとき、今回学んだことが役に立つと思います。



● 佐藤 麻央 さん (3年) ● 梅原 祐菜 さん (2年)

日本の中心の安全を守る警視庁は、いったいどのくらいの大きさなのか全く予想できませんでした。実際に目にして、建物も設備の規模もすごく大きくてびっくりしました。特にも、たくさんのコンピュータが並び、次から次に通報が寄せられていた通信指令センターが印象に残っています。

警察の仕事や警視庁の歴史など難しい話も、クイズ形式で楽しく学ぶことができましたし、駒林美津穂さんをはじめ岩手県出身の職員や、岩手県警察本部長の経験がある山下史雄警視庁副總監の話も聞くことができました。警察官の皆さんはみんなピシッとしていて格好良かった。機会があれば、いろいろなところを訪問してみたいです。この体験で学んだことを、将来に生かしていきます。